

◆二十五番（荻田義雄）（登壇）議長のお許しを得まして、通告しております質問順序に従って、自由民主党改革を代表して知事に質問させていただきたいと存じます。

次に、リニア中央新幹線の間駅の早期設置についてお尋ねをいたします。リニア中央新幹線の整備について、建設・営業主体であるJR東海は、東京一名古屋間の開業が二〇二七年、名古屋一大阪間の開業が二〇四五年と二段階施工を表明しています。建設費用についても、JR東海は自己資金で整備する方針を示していますが、最近の国の動きとして、昨年十二月に政府が策定をいたしました国土強靱化政策大綱においても、リニア中央新幹線は我が国の経済社会を支える東西大動脈の代替輸送ルートであり、国家的見地に立ったプロジェクトであるとしています。名古屋より東側で平成二十六年、度中の建設着工を目指すJR東海に対して、政府は建設に必要な土地などを取得する際にかかる不動産取得税と登録免許税を非課税とされています。さらに、東京一大阪間の全線同時開業のため、特別法を制定して、JR東海の建設費や環境アセスメントの費用に対し無利子融資ができないか、自由民主党超電導リニア特別委員会において種々検討をされているとお聞きしています。

リニア中央新幹線建設促進三重県・奈良県経済団体連合協議会が、昨年六月、東京一大阪間の全線同時開業による奈良県、三重県、大阪府の三府県のエリアにおける経済効果进行分析されました。そして公表された結果は、三府県において、東京一大阪間を全線同時開業した場合、単年度の経済波及効果は一・五兆円で、名古屋までの部分開業の場合と比較して一・七倍の経済効果が発生するなど、リニア中央新幹線が本県の経済発展に大きく貢献をすることがわかりました。

そこで、知事にお伺いをいたします。リニア中央新幹線の誘致は、奈良県経済の再生や活性化に大きく寄与する一大プロジェクトであることから、奈良市附近への中間駅の早期設置に向け、本県として全力を挙げて取り組むべきと考えております。知事のご所見をお願いいたします。

◎知事（荒井正吾）（登壇）二十五番荻田議員のご質問にお答え申し上げます。

リニア中央新幹線の間駅の早期設置の取り組みについてのご質問がございました。議員お述べのように、リニア中央新幹線は、新幹線の駅も空港もない、我が国の発展の国土軸から外れている本県にとって極めて重大なプロジェクトでございます。経済活性化のみならず、本県にもたらされる数々の効果ははかり知れないものがあると思っております。リニア中央新幹線の間駅につきましては、国から建設主体・営業主体として建設の指示を受けたJR東海が最終的には決定することとなっておりますが、その際、県に十分相談をされるというふうには理解をしております。本県といたしましては、奈良市附近駅を早期に確定し、駅着工のような考えが実施できるように措置してほしいということ、また、駅位置の確定に当たっては、その便益が紀伊半島全体に広がるよう、交通結節性の高い位置に設置することを訴えております。これまでも官民挙げて国やJR東海に訴えてまいりましたが、本県のさらなる発展のため、引き続きJR東海とも協力し、中間駅の早期設置に向け、全力で取り組んでまいりたいと考えております。

◆二十五番（荻田義雄） 答弁ありがとうございます。自席から二問目、させていただきたいと思っております。

リニア中央新幹線の話は私はいました。リニア中央新幹線は、特に京都府、京都市、京都財界、こういう経済界が一生懸命になって、京都テレビ、あそこに出てきます宣伝、京都府の方々は非常にいいなというふうに見受けられていると思います。こっちのほうは断然速いですよと、名古屋から京都、大阪と行くのが速いですと。もともとリニア中央新幹線の使命というのは震災対応ということ、わざわざ東京から長野県、そして名古屋、亀山、そして在来線でありまして関西本線を使って、そして奈良市附近、さらには新大阪、これがもともとの運輸省当時で決められたこととございますので、どうぞこれから、震災対応にこのリニア中央新幹線は影響を受けるものだと、そういうことをしっかりと話を、説明をしていられるのがいいのではないかと、そういうふうに思います。京都はとにかく一番速いルートだと、直線ルートだということ京都テレビで放映をされているようです。その辺ひとつまたこれから、奈良テレビもございませうから、しっかりとこういったこともおやりをいただいたらいいのかと、このように思うところでございます。今、新谷議員さんもおっしゃいましたが、どうぞ奈良県にぜひやはり誘致促進を促す。その原因は、あるいはその目的は、やはり震災対応であるということ、これを明確に知事として発揮をしていただきたい、このように思うところでございます。

◎知事（荒井正吾） いずれも重要な論点に触れられたように思いますので、多少、お答えというよりも所感を述べさせていただきたく存じます。

リニア中央新幹線でございますが、議員お述べになりました震災対応が最も大事だよと。昭和四十八年に新谷寅三郎運輸大臣のときに基本計画に入って、平成二十三年五月に整備計画に改めた。京都は、昭和四十八年に入った計画は古くさいと言って、平成二十三年五月に入ったことはおっしゃらないわけですね。とても新しい奈良市附近の計画になっております。二十回も検討していただいた結果の奈良市附近でございますので、奈良市附近の中間駅の位置はぴかぴかだというふうに申し上げたいと思いますが、北のほうの人は、要らんものは見ないという風習が長年ございますので、これにどう対応するのか、もっとちゃんとしゃべれということだとおっしゃっているのだと思いますが、震災対応でリリダンダンシーがあるということは当然でございますし、新名神高速道路が南へおりたのは、活断層が北のほうにあるので、新名神高速道路は避けようというので、新名神高速道路が下におりたわけでございます。しかし、それは京都も要望しておりたわけでございますが、今度はそういうのは無視してやるというのは将来に禍根を残す方向だと、おっしゃるように私も思いますので、ただ、今、国でこのように決まって、JR東海もその意味はよく理解していただいておりますので、また一緒に陳情にご同行をお願いできたらと思っておりますけれども、東京に行くと、公明党の太田国土交通大臣はじめ鉄道局長は皆理解がよいです。京都はこんなことを言うけどおかしいよと、向こうがおっしゃっていただきました。ところが、関西へ来ると何だか違う世界に帰ってきたみたいで、国なりJR東海が決めていることをひっくり返そうと、論争しろ、論争しろとおっしゃる。ちょっととても不思議な国に帰ってきたような気が時々いたしますが、議員お述べのように、震災はこの計画の骨、最も大事な点でございますので、それを踏まえて、私は力不足の面もございますが、努力をしていきたいというふうに思います。ありがとうございました。